

本年の重点事業について説明

1
5

1月5日、川田達男会頭が年頭の定例会見を福井商工会議所ビル特別会議室で行った。

まず今年の景気見通しについて、「回復基調が続くことを期待するが、中国経済の急減速など先行きは不透明、バブルがはじけた時の影響が危惧される」と述べた。

また、昨年の金沢新幹線開業



担当：総務・経理課

による県内への波及効果についても触れ、「開業の影響で、宿泊者数が対前年比で800%上昇、県内の名所も来場者数が大きく増加した。関西の商工会議所とも連携を強化し、広域観光の振興や販路開拓事業などのつながりを広めていきたい」と語った。

さらに、環太平洋連携協定（TPP）が昨年大筋合意されたことについては「本格的に機能すれば、国内総生産で世界の40%を占める経済圏になり、影響は大きい。日本の強さを発揮できるチャンスであり、海外への展開を積極的に進めていけるような活動を行っていききたい」と述べた。

そのうえで、「地域を支える中小・小規模企業の支援にさらに力を入れて取り組みたい」と抱負を語った。

1
4

年始恒例の交歓会、四百名集う

賀詞交歓会

年始恒例の賀詞交歓会を開き、会員企業や行政関係者など約400人が集った。挨拶に立った川田会頭は「TPPやIoTによる技術革新で企業環境は変化している。中小・小規模企業支援強化、人口減少対策や基盤整備などの地域振興、会議所組織の活性化の3つの視点で我々の役割を果たしたい」と述べた。

そして、西川知事の祝辞、東村市長の乾杯の発声を皮切りに、出席者は新年の挨拶を交わし、和やかな雰囲気で見聞を深めていた。



担当：総務・経理課

1
22

学生から社会人へステップアップ

伝説の新人養成塾

今年4月から新しく社会人となる学生を対象に伝説の新人養成塾が開催され、16名が参加した。

講師には(有)アスタコーポレーションの大久保透氏を招き、社会人・組織人の在り方を解説。その後はグループに分かれ、ロールプレイングを行った。

午後からは社会人で活躍している男女2名から事例発表が行われ、受講者からはどんな大きな仕事を任せられたか等の質問が出るなど、一人前に認められたいとの意欲も強く伝わってきた。



担当：ふくいジョブカフェ

1
26

福井大学と産業界の交流会

FUNTECフォーラム

福井大学と企業との情報交流や次世代イノベーションの種となる研究シーズの紹介を目的としているこのフォーラムは今回で25回目。当日は各研究室のパネル展示、講演会、交流パーティーが行われ、約130名が参加した。

福井大学の眞弓学長からこのような機会を通し、産学官金の連携を一層深めていきたいという開会の挨拶に続き、福井大学産学官連携本部活動紹介やGLM(株)小間社長のEVベンチャーによる自動車産業への参入について講演が行われた。



担当：産業・地域振興課

1
27

難関の日商簿記1級に合格

日商簿記検定1級合格証書伝達式

昨年11月に実施された、第141回日商簿記検定1級の合格証書伝達式を開催した。試験に合格した田端恒紀さんと林聖之さんは「今後は税理士試験合格を目指して、より勉強に励んでいきたい」と語っていた。

なお、今回の1級試験は県内で36名受験し、今回の表彰者を含む4名が合格。合格率は11・1%であった。
※福井商工会議所では、従業員の技能向上などを目的に各種検定試験を開催しています。



担当：経営支援・人材育成課

自社の「強み」を発見し、補助金獲得を目指そう！ 経営計画書作成セミナー&個別相談会

平成27年度補正予算に盛り込まれた「小規模事業者持続化補助金」の申請に対応した、「経営計画書」(補助金申請書)の作成をサポートするセミナーを2日間シリーズで開催します。

日 時：平成28年2月18日(木)、22日(月)
いずれも13:30~16:30
会 場：福井商工会議所ビル 会議室D
講 師：シナジー経営(株)・北出経営労務事務所
代表 北出 慎吾 氏
定 員：先着36名
※2日間とも受講できる方が対象です
参加費：無料 ※事前のお申込みが必要です。

詳しくは、別冊のセミナー&インフォメーションをご覧ください。

福井商工会議所 経営支援・人材育成課
TEL：0776-33-8283 E-mail：keiei@fcci.or.jp

1
Jan

「会議所カレンダー」

- 4日 ■ 賀詞交歓会
- 5日 ■ 会頭年頭記者会見
- 14日 ■ 原子力研修 シーケンス制御の基礎(21日)
- 18日 ■ 源泉所得税年末調整相談会(20日)
- 19日 ■ ホームページ作成セミナー(2月24日)
- 22日 ■ 伝説の新人養成塾
- 原子力元請企業との情報交換会
- 26日 ■ FUNTECフォーラム
- 27日 ■ 日商簿記検定1級合格証書伝達式
- 28日 ■ 新春経済特別講演会

2
Feb

1日 ■ 議員懇談会

■ 記事掲載分